

# 動物園のうらがわ展

- 2020年度編 -



うらがわに行く,  
アメリカバクのカルロスの尻

# 動物園のうらがわ展，開催にあたって

動物福祉（動物たちの心身の健康の状態）を良い状態に保つことは，動物園のすべての活動の土台となるものです。京都市動物園では，動物たちの暮らしが快適なものになるようにいろいろな工夫をしています。

しかし，動物たちはわたしたちと異なる方法で世界を知覚して，関わり合っています。「彼らに適した環境・関わり方」とひとことでは言えても，それはどんなものなのか…とても深くて大きな問いです。

# 動物園のうらがわ展，開催にあたって

京都市動物園では，こうした取組を加速させるために2020年3月には動物福祉の指針を定めました。動物園スタッフでアイデアを出し合い，時には外部と連携しながら環境エンリッチメント※や動物の行動や生理指標をもとにした定量的な評価を行っています。取組によっては道半ばのものや，理想的な状況とは程遠いものもあるかと思えます。しかしこうしたちょっとした変化の積み重ねが大切だと考えています。

今年度，自分たちでできる限りの工夫をしながら行った取組のうち，一部を御紹介します。これからも動物福祉の向上に継続的に努めていきたいと思えます。

※動物福祉向上のために行う具体的な取組を指します。

# おとぎの国編





種名：カイウサギ *Oryctolagus cuniculus*

カイウサギの飼育スペースを広くして、同時に複数の個体をグラウンドに出せるようになりました。

また、隠れ場所や遊具を設置しました。

特にメスでは個体間の交流が盛んになり、行動のレパトリーや運動量が増加しました。

オスは闘争を避けるため単独飼育をしていますが、穴を掘るなど色々な行動が見られるようになりました。





種名：テンジクネズミ *Cavia porcellus*

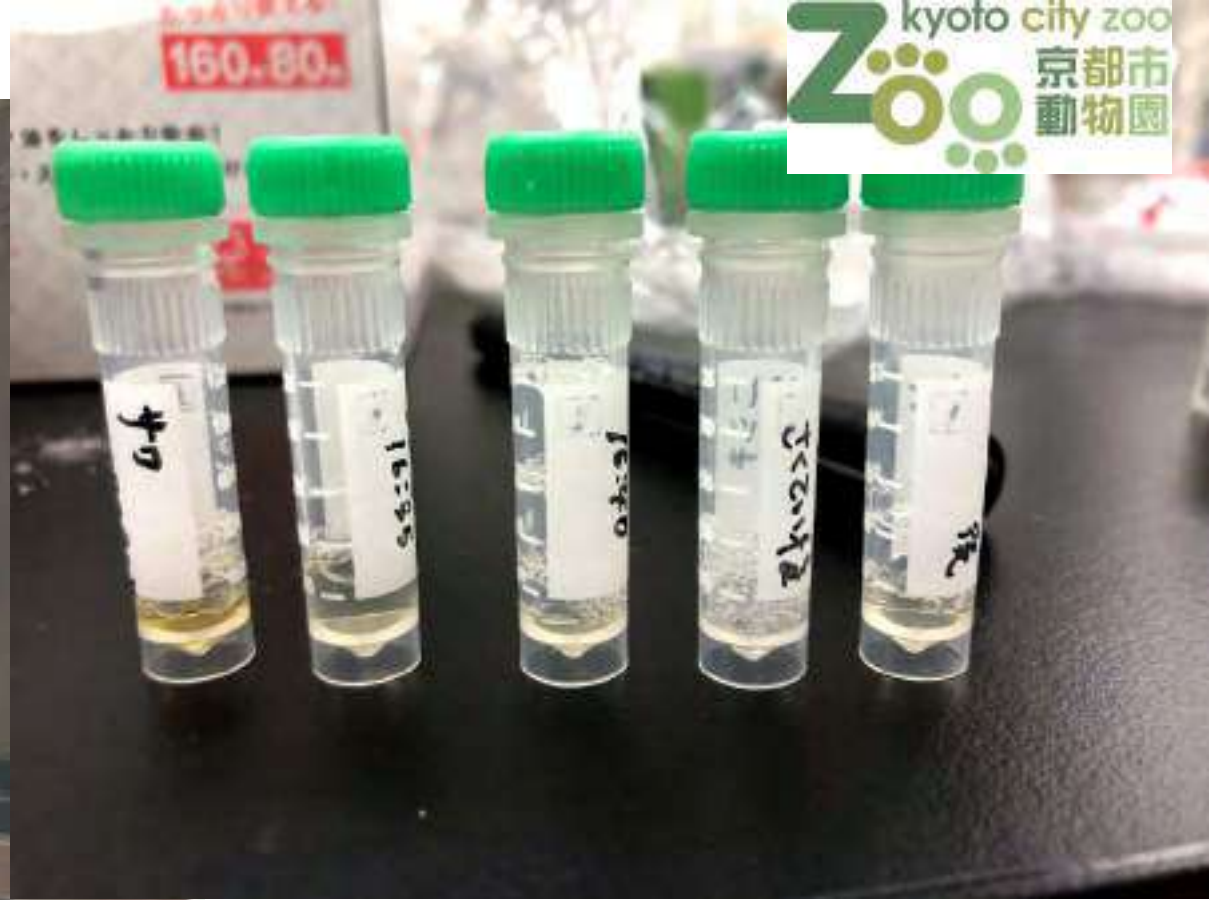
おとぎの国の飼育スペースを有効利用して動物たちが使える空間を増やせるように、それぞれ配置換えしました。テンジクネズミたちはもともとミニブタが使っていたグラウンドへ。





種名：ミニブタ *Sus scrofa domesticus*  
ミニブタのナッキーは、ヤギの南グラウンドの区画へ。  
これまでよりも広いところで暮らしています。

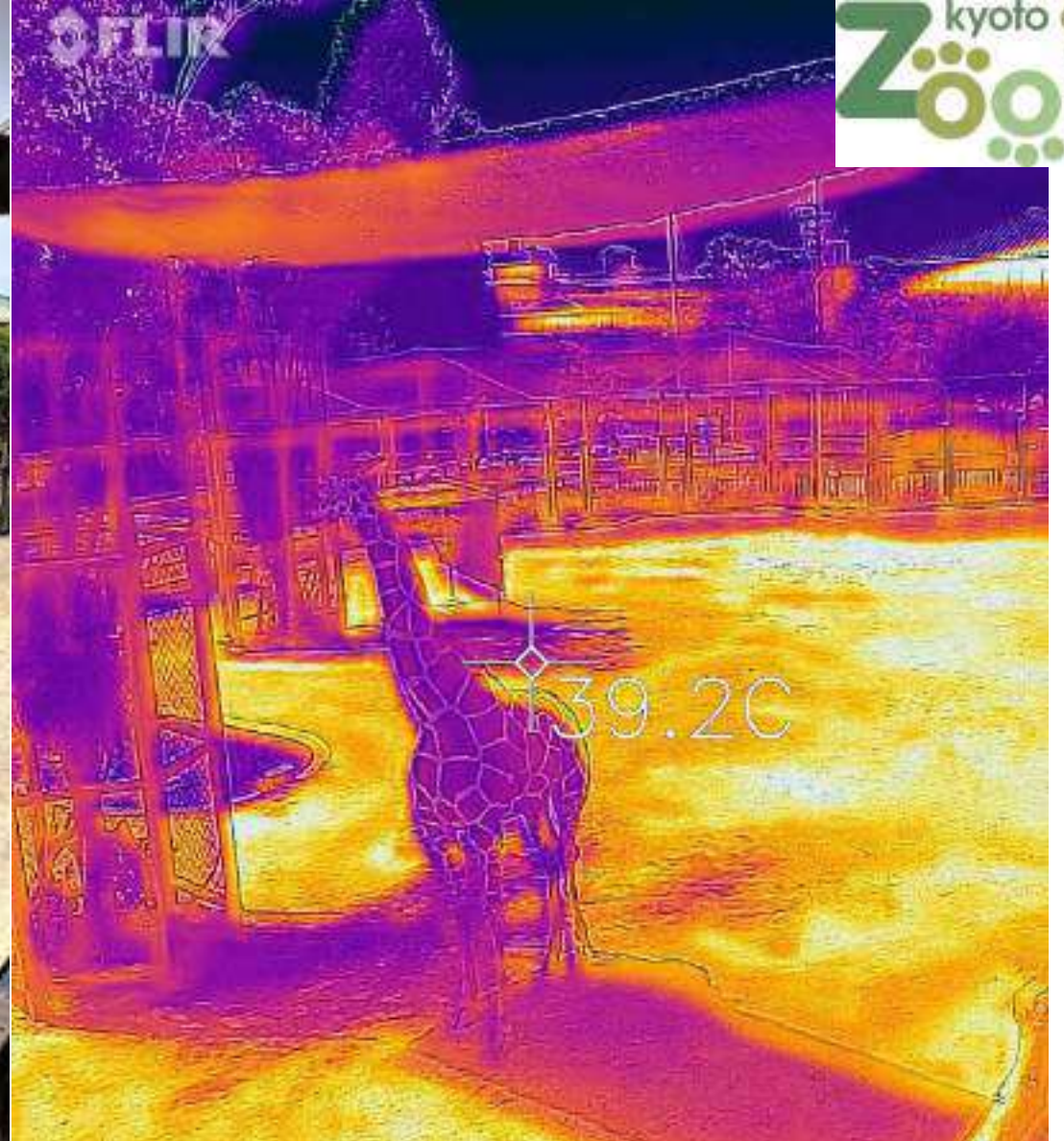




種名：ヤギ *Capra aegagrus hircus*  
コロナウィルス感染拡大防止の観点から、  
ふれあい活動が休止しています。  
これを機会にヤギのストレス調査をして、  
人にも動物にもやさしいふれあい活動を  
模索します。



# キリン編



種名：キリン *Giraffa camelopardalis*

アフリカのサバンナで暮らすキリンも、暑い時には木陰に隠れます。

夏の暑さから少しでも逃れられるように、寒冷紗をつけて日陰を増やしました。

さっそく使っているミライ。サーモグラフィで見ると、多少は涼しい場所になっている様子。





種名：キリン *Giraffa camelopardalis*

寒冷紗の設置作業中。

背の高いキリンが誤って飲み込まないように、寒冷紗をつけるレールをたちあげました。



種名：キリン *Giraffa camelopardalis*

夏の暑い時期は、夜もグラウンドを使えるようにします。夕方にサブグラウンドに出てきたイブキさん。アウトドア派だったイブキは日によっては、9割がた夜間もグラウンドで過ごしていました。



# ゾウ編



種名：アジアゾウ *Elephas maximus*

ゾウたちも、夏の間はサブパドックに夜間も順番に出られるようにしました。力の強いゾウたちは安全対策もしっかり確認してから行う必要があります。トンクンが初めて夕方にサブパドックに出てきたところです。





種名：アジアゾウ *Elephas maximus*

4頭の若いゾウたちは、初日から積極的にサブパドックを使用していました。探索したり，採食したり，寝たりと思いつきに使っていたようです。

ゾウ舎 屋外西: 2020/09/18 01:01:01



種名：アジアゾウ *Elephas maximus*

深夜のカムパートを激写！（監視カメラ映像です。）夜中1時頃の様子です。ゾウたちは結構真夜中に屋外に出てきて、活動をしていたようです。カムパートとトンカムは外でも寝ていました。



ゾウ舎 屋外西: 2020/08/26 18:00:38



種名：アジアゾウ *Elephas maximus*

夕方のトンカムです。外の水入れに、草を浸して食べに来ていました。(監視カメラ映像)

トンカムは、ゾウの中では一番のアウトドア派で、よく屋外に出てきていました。

昼でも夜でも、動物にとっての選択肢を増やせるようにこれからも努力していきます。

# エンリッチメント 色々





種名：ヤブイヌ *Speothos venaticus*

テンジクネズミの部屋で敷きワラとして使われていたワラをヤブイヌのグラウンドに入れてみました。

やはりニオイがするようで、ヤブイヌたちは熱心に嗅いでいました。

嗅覚エンリッチメントの一つになったと思います。





種名：ヤブイヌ *Speothos venaticus*

鶏頭インプール

ヤブイヌたちの餌の一つ鶏頭をプールに沈めてみました。

泳ぎのとても得意なヤブイヌ。

見事な潜水で鶏頭を取っていました。

鶏頭が無くなった後も潜って探す様子も見られたので、  
良いエンリッチメントになったと思います。





種名：ジャガー *Panthera onca*

消防ホースと足場丸太を組み合わせたハンモックの上のジャガーのミワ  
バランスをとりながら、上に乗ったり、肉を食べたり、多様な動きを引き出します。





種名：ツキノワグマ *Ursus thibetanus japonicus*

野生では長い時間をかけて、食べ物を探して食べるツキノワグマです。ほのかの屋外グラウンドに枝をたくさん置いて、食べ物を隠しています。写真はほのかが、手や口を使って食べ物を探して食べているところです。





種名：オオバタン *Cacatua moluccensis* キバタン *Cacatua galerita*

オウムのおさんぽの様子。閉園後，休園日など，可能な限り毎日オキバとオージローが園路，グラウンド，なかよしルームなどでスタッフと一緒に遊んだり，運動したりできるようにしています。他にも暇な時間を減らすためにおもちゃを入れたり，食べる回数を増やしたりしています。





種名：エミュー *Dromaius novaehollandiae*

ペットボトルの中にペレットが入っています。つつくと下の穴からペレットが落ちてきます。嘴でつつくエミューのゴウさんと、それを待つジニーさんです。



種名：エミュー *Dromaius novaehollandiae*

エミューたちは水浴びが好きですが，既存のプールはお気に召さない様子…。別の砂の上を水浸しにすると，好んで水浴びをすることが発覚したため，エミューたちに合った形で水浴びができるように定期的に機会を提供しています。





種名：フンボルトペンギン *Spheniscus humboldti*

ペンギンのでこぼこライフ，に向けて

野生のフンボルトペンギンは岩などがたくさんあるでこぼこした海岸で暮らしています。平らなコンクリートでの生活は楽ちんそうに見えますが，常に同じところに体重がかかってしまうので，ペンギンの足に負担をかけてしまうことにもつながります。飼育担当者が初めて作った，擬岩の上に臆することなく登るワシくんです。チリの海岸を目指した，第一歩…！（道のり長し）



種名：レッサーパンダ *Ailurus fulgens*

食べ物を探す時間を長くするため、レッサーパンダたちの大好きなりんごを木の中や落ち葉の中に隠しています。隠すことで、りんごがなくなってもまだあるのでは？と思うのか、しばらくの間は探してくれます。







# 選べる環境





種名：アメリカバク  
*Tapirus terrestris*

寝室とグラウンドの間にビニールカーテンを付けました。寒い時でも屋内は快適な温度に保つことができるようになったことで、冬の夜間にもグラウンドを利用できるようになりました。カーテンをくぐってでてくるカルロスです。

2020-12-17 01:41:04 バクグラウンド



種名：アメリカバク *Tapirus terrestris*

真冬の深夜にグラウンドをウロウロするアメリカバクのミノリ。(監視カメラ映像)

※暖房付きの室内にも入れます。





種名：インドクジャク *Pavo cristatus (domestic)*

クジャクたちが冬の寒さの中でも風をしのげるように、ビニールハウスをお手製で作りました。

個体に合わせて





種名：アカゲザル *Macaca mulatta*

42歳のアカゲザルのイソコ(右)は、存命中のアカゲザルとしては最高齢です。

どんな時でも妹のビート(左)はイソコの味方です。飼育担当者らが近づいてくると、イソコを守ろうとしているのか、ガガッと声をあげながらイソコに寄って行きます。年老いても、姉妹の絆は健在のようです。



種名：アカゲザル *Macaca mulatta*

少しずつ変わっていくイソコの様子に合わせて，環境にも工夫が必要になってきます。イソコはだいぶおばあちゃんになり，運動機能にも衰えが目立ってきました。しかしまだまだ食欲も動く気も満々のようです。そのせいか近頃ははしごから落ちたり，溝に落ちたりするようになってしまいました。仲間と過ごしながらも，イソコは安全にすごせるような屋内中心の生活になりましたが，時々屋外グラウンドに飼育担当者と散歩に行つて太陽の光を浴びながら…もりもりと草などを食べています。





種名：フサオマキザル *Cebus apella*

高齢で順位も低いフサオマキザルのヨシコは、仲間から攻撃を受けたり、食べ物が食べられなかったりなどの問題が出てきたため、単独で生活するようになりました。ヨシコが単独生活であっても、仲間と視覚的なコミュニケーションをとれて、日光や風を感じられるようにするために、寝室とグラウンドの出入り口にサンルームを作りました。

来園者のみなさんと





種名：ニシゴリラ *Gorilla gorilla*

ゴリラのグラウンド緑化の取組のために、たくさんの来園者の皆さまから木々の苗をいただきました！

せっせと植えては、ゴリラに抜かれつつも、ゴリラの森にするために奮闘中です。写真はそんな木々に囲まれたキンタロウです。





種名：アカゲザル *Macaca mulatta*

一日動物園体験に御参加くださった参加者の皆さまと、アカゲザルの環境エンリッチメントを考えました。その中のひとつとして、落ち葉の中に食べ物を隠してみました。写真はチーコとサエコとトノが並んで食べているところに、テンプラがやってきたところです。



# おしまい



おもてに戻ってきたアメリカ  
バクのミノリ



kyoto city zoo  
京都市  
動物園